

慶雲寺報

NEWS

* 酷暑お見舞い申し上げます

梅雨明けも早く、体と気持ちの準備が追い付かないうちに、真夏の暑さが続いております。皆様、お変わりございませんでしょうか？お盆に向けての境内作業も、日中の酷暑を避けつつ少しずつ進めているところです。

* * *

平成30年8月号 4・5・6月と、他寺の法要手伝い・教区庶務としての案件が続ぎ、『寺報』を発行できずにありました。例年夏休み初めに開催しておりました慶雲寺こども坐禅会も、準備不足と夏の酷暑を考慮し開催を見合わせました。いずれも楽しみにしてくださいました方には、お詫び申し上げます。

* 盆柵経について

お伺い予定のお宅には、寺報に添えて別紙予定表をお届けいたしました。

今年も【初盆宅ノ13回忌までの年忌該当宅】へお伺いする形といたします。

* 八ちに注意

この時期、墓地区画の灯笼や線香皿の箇所に葉がある場合がございます。お墓参りの際は、十分お気を付け下さい。

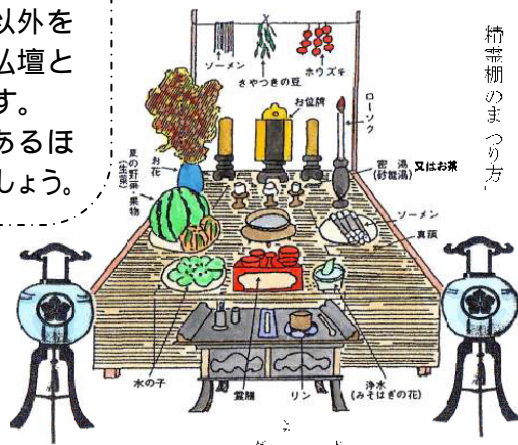


* お盆あれこれ

お盆精霊柵

ご自宅にお帰りになったご先祖さまにお休みいただく場所として、お座敷を模して準備します。室内スペースの問題もありますが、初盆・それ以外を問わず、小型のテーブルなどで仏壇とは別に用意するのが本来の姿です。更に言えば、段飾りより平面であるほうが座敷としては適しているでしょう。

精霊柵のまつり方



飾り方の一例

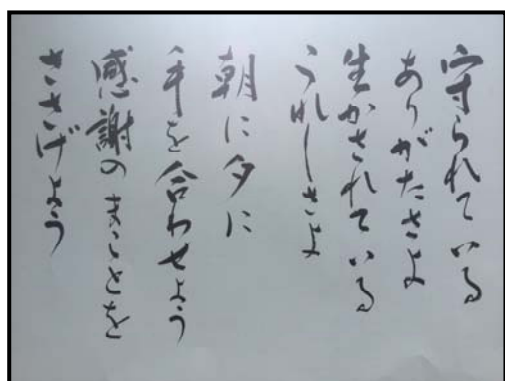
13日に気持ちよくご先祖様をお迎えますよう、各家のお墓やお仏壇の清掃等、準備いたしますよう。

ご先祖様のおられない墓地区画も、雑草の種子が他へこぼれますので除草をお願いいたします。

尚、お墓参りノ墓地清掃の際は、これまでに引き続き、ゴミの持ち帰りにご協力いただきますようお願い申し上げます。

◎伝道掲示板から

幼稚園を併設するお寺に伺った時のこと。「うれいときも、かくなしいときも、おててを合せて拝みまゝ」という園児の歌声が聞こえてきました。



園を運営する本山修行時代の同期に尋ねると、小さい頃から のさまが身近にあるから、卒園して成長しても、手を合わせるという習慣が当たり前になるんだよね、ということでした。

とかく、「困った時の神頼み」と言われるように、私達は自分に都合が悪い時にばかり、目に見えない尊きものにすがります。時に、不都合の原因を目に見えないものと結びつけることもあるかもしれません。果たしてそれだけで良いでしょうか？

ご先祖さまを身近に感じられるお盆がやって来ます。見守られている喜び、生命を受け継いでいることへのありがたさを、ご家族みんなで語り合いながら、お盆を過ごしましょう。

菩提寺にも、ご

家庭のお仏壇にも本尊さまがおられます。嬉しい時も悲しいときも手を合わせられる習慣を！

